

みやま



【校訓】
自主・創造・博愛
—教育目標—
認め合い、高め合う生徒の育成



牧園中学校
「学校だより」
牧園町宿達田751-1
0995-76-0021
2月号 令和7年2月28日

チャレンジすることの大切さ

校長 竹下 誠

近年にない寒波が訪れるなど、立春を過ぎたものの寒さが厳しい2月になりました。しかし、しだいに春の草花も芽吹きだし、穏やかな春の季節が近づいていることは間違いなさそうです。

さて、「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に合格した話」(坪田信貴著)という本があります。「ビリギャル」として映画にもなりました。ご存じの方も多と思います。物語のモデルは当時高校2年生の小林さやかさんで、著者の坪田さんは彼女が通う塾の先生です。勉強など興味も無くて校則違反を繰り返すなど、自由奔放な毎日を過ごしていた小林さんは、心配をしながらも自分を守ってくれる母親にこれ以上心配をかけたくないと思うようになり、大学への進学を決意します。「聖徳太子」を「せいとくたこ」と読むくらい、高校生としては基礎学力がついていなかった小林さんでしたが、坪田先生から「君みたいな子が慶応大学に受かったら面白いよ」と言われ、チャレンジを始めます。なんと、小学校4年生のドリルからやり直し、1日15時間は勉強したそうです。しかし、簡単には成績が上がらず、「もうやめたい」と思うこともあったそうですが、保険を解約したり、親戚から借金をしたりして塾の月謝を工面してくれた母の苦勞を無駄にしたくないという思いで必死に勉強を続け、見事に慶応大学に合格します。その後、社会人になってからも、聖心女子大大学院やアメリカのコロンビア大学で学ぶなど、新たなチャレンジを続けていきました。

講演活動も積極的に行っている小林さんは、大切なことは偏差値を上げるのではなく、本気で挑戦できる何かを見つけること。夢を持つ大切さを伝えることが「ビリギャル」としての使命だと考えているそうです。うまくいくかどうかはやってみないと分からないわけですから、とにかく、自分の夢や目標を明確にしてチャレンジする一歩を踏み出せるか、そして、達成するために自分ができる最大限の努力を粘り強く続けていけるかが大切だと思います。牧園中の子どもたちもチャレンジすることを大切にして、自分の可能性を広げていって欲しいと思います。

入学者説明会

令和6年度「入学者説明会」を2月5日(水)に開催しました。(午前中は、牧園小で中学校職員が出向き英語、保体の授業を行いました。)校長あいさつ、生徒会本部から、学習面・生活面など中学校の生活について担当の職員から説明を受けました。どの児童の皆さんも、美しい姿勢で話を聞き逃さないように真剣に聞き入っていました。その後は、制服などの採寸や校内や部活動を参観しました。小学6年生の皆さん、4月に入学し、一緒に学ぶことを楽しみに待っています。



英語授業



生徒会紹介



部活動見学

県下一周駅伝観戦

今年も県下一周駅伝が開催され、牧園小前で観戦、応援しました。大会は全長583.2kmを5日間かけて走り抜ける市郡対抗の駅伝大会です。選手たちの力強い走りに大きな声援を送りました。選手たちが通過するたびに、歓声が上がり、応援の熱気が伝わってきました。皆さんの応援が、選手たちの力になったことでしょう！



3月行事

- 5日(水)・6日(木)公立高校入試(3年)5教科, 面接
ドリカム・実力テスト(1, 2年)5教科
- 6日(木) PTA第6回総務委員会 19:00~
- 7日(金) クラスマッチ
- 9日(日) 第3回PTA美化作業(環境整美部) 7:00~
- 12日(水) 第57回卒業式
- 13日(木) 公立高等学校合格者発表
- 22日(土) メディアコントロールデー子どもと一緒に読書の日
- 25日(火) 修了式・離任式(10:25~11:10)

走る冒険家 岩元みささん 講演会

「走る冒険家」として活動する岩元みささんの講演が2月20日(木)の家庭教育学級でありました。岩元さんの愛称はPONちゃん。2018年4月に世界で最も過酷なマラソンと言われる「サハラマラソン」に挑戦し、237kmを完走。同年10月には「イランシルクロードマラソン」230km、モンゴルのゴビ砂漠で開催されたマラソン大会で、250kmを7日間かけて走り切りました。講演で岩元さんは、レースで使ったリュックやその中身を見せながら、サハラマラソンへの挑戦を決意した時のことを振り返り「やめた方がいいと言ってくる人がいたり、お金の心配もあつたりしたが、やりたいことに挑戦していたらサポートしてくれる仲間が増えてきた。みんなから応援したいと思える人になれば、自分も強くなれるし、周りの人も元気になる」。大会でイランを訪れた時は「政治的にアメリカと対立していたが、そこには普通の生活が広がっていた。イランの友達から『FRIENDSHIP HAS NO BORDER(友情に国境はない)』という言葉を教わった。先入観で何かを決めてしまうのはもったいないと感じる」と語りました。「生き方」を学ぶ貴重な機会となりました。

令和6年度 鹿児島学力・学習状況調査の結果

1,2年生を対象に行われた鹿児島学力・学習状況調査の結果(タブレットによるテスト)が発表されました。今回の結果を踏まえ、今後、各教科で分析を行い、基礎・基本の徹底や主体的・対話的で深い学びを推進していきます。

部門	国語	社会	数学	理科	英語	平均
鹿児島県	66.3	47	40.9	52.4	52.8	52.3
霧島市	67.3	49.5	43.1	53	51.6	52.9
牧園中2年	64.9	49.7	36.5	53.8	47.1	51

部門	国語	社会	数学	理科	英語	平均
鹿児島県	62.9	52.4	48.8	57.9	58.8	56.6
霧島市	62	52.1	47.1	55.3	57.8	54.86
牧園中1年	68.5	56	60.2	66.7	65.8	63.6

数字は%